

# 新型コロナウイルス禍での施設機能・サービス低下させない相談員の役割

## 【現任研修】

講師 特別養護老人ホームやすらぎの家 副施設長 林 正

- コロナ禍での施設と地域社会資源との連携について
- コロナ禍で施設サービス・機能が低下させないためには
- 感染予防対策中こそ施設の新たな機能を高めるマネジメントとは
- 感染予防対策と家族の面会、関係性への対応について

## 【研修内容】

新型コロナウイルスで施設は入所やショートステイの受け入れを一時中止したり、地域活動、ボランティア等社会資源との繋がり、連携も中断しています。

更に密を避ける為にアクティビティ活動も停止し、行事等中止縮小し、サービスも今までどおりにはできなくなっています。家族の面会制限も継続しなければならない中、施設相談員が施設機能・サービスを低下させない為のアクションの在り方について

講義し、現在そして次の感染拡大に備えた対策を講義します。

社会福祉法人吹上苑 特別養護老人ホームやすらぎの家 理事 副施設長

東京都社会福祉協議会職員研修委員、生活相談員研修委員を歴任し現在事務職研修委員。特別養護老人ホーム相談員歴30年、施設、地域ケアマネジメントにあたる。介護保険制度施行時より介護支援専門員研修講師。東京都、神奈川県介護支援専門員専門Ⅰ・Ⅱ研修講師。アセスメント・ケアプラン作成や介護支援専門員、生活相談員のソーシャルワークについての研修を行っている。青梅市ケアマネジャー連絡会を立ち上げ、理事、会長を歴任し現在顧問。介護報酬・運営基準に関する本の執筆、講義、研修を15年以上行っており、制度改正年度に合わせ基準、加算の解釈・留意事項研修を行っている。

## <著書>

『介護報酬加算「算定基準と解釈」』（日総研出版）

『ケアマネジャーになる本』（主婦の友社出版）

『通所&施設マネジメント』生活相談員・施設長の為のお金の話連載中(日総研出版)